



No. 02

学校法人奈良育英学園広報誌

250日を  
切りました!

## 学園創立100周年まで、いよいよカウントダウン!!

学園創立100周年を記念して学園広報誌「花～すみれ～」の2号を発行しました。今回の広報誌はページを増刷し、より内容豊かなものになりました。中高は「異文化交流」、西中高では「21世紀型教育」、小学校では今年度より取り入れている「ESD(持続可能な開発のための教育)」、幼稚園では子どもの創造力を豊かにする取り組みと、総合学園ならではの学びを掲載しております。各校園の様々な取り組みをどうぞご覧ください。

### 目次

創立100周年に向けて 学園長挨拶	2
各校園 NEWS&TOPICS	
学園	2
育英誓願とは ①	3
幼稚園	4
小学校	5
育中・育高	6
西中・西高	7
学園創立100周年記念事業募金のお願い	8
学園ホームページリニューアルのお知らせ	8

## 100周年に向けて

学園長 下辻 真人



学園創立100周年まで、250日をきりました。

前理事長の藤井長治先生が、創立70周年の記念誌に「学園の教育は、もともと創立者の藤井高蔵、ショウ両校長が、キリスト教の精神を本とし、世界四聖の心を学ぶことを中心とした人格教育を

行ってきました。そのため、創立以来の教育方針の根本をなすものは、戦後の新しい教育にそむくものではなく、新憲法や教育基本法の制定に先立って、昭和21年に教育方針を定めました。この教育の目的を達するために、誓願を立てました。それが育英誓願です。育英誓願は、奈良育英学園に建学の精神であり、また奈良育英教育に於ける、過去、現在、未来に亘って『不易の世界』であり第一の柱である。」と書かれています。100周年を機に、この第一の柱を基盤として、グローバル経済社会において、将来活躍できる児童、生徒を育成することを目標に、21世紀型教育の実現を、理事長が学園の教育目

標とされました。すでに、奈良育英小学校、奈良育英中高、育英西中高の各校において、21世紀型教育を取り入れた、さまざまな取り組みが行われています。まだまだこれからですが、「現代の松下村塾」と言われるような学園になってほしいと考えています。奈良育英学園を巣立った生徒が、世界を舞台に活躍できる教育環境を、理事長の下、教職員が一丸となって、完成させたいと思います。今後の学園、各校園に、そして、2016年11月1日の100周年記念式典、祝賀会が成功裏に終われますように、皆様方の、更なるご協力をお願い申し上げます。

平成27年8月

### 創立100周年記念 文化講演会

2015年8月30日(日)に学園創立100周年記念事業として「文化講演会」を、奈良県文化会館(国際ホール)で開催しました。

第一部は奈良育英学園の児童・生徒が「21世紀の奈良育英学園」というテーマで、プレゼンテーションを行いました。その内容は、各校で現在取り組んでいる学習を紹介し、100周年のキャッチコピーである「伝統の風を未来へ」に向けて、どのように発展していくのかというすばらしい発表でした。

第二部は近畿大学 名誉教授の熊井先生をお招きして講演を拝聴しました。近畿大学と奈良育英学園は、2007年7月13日に、近畿大学「21世紀教育連携パートナーシップ協定」に基づく、初めての協定校として協定が結ばれました。以後、奈良育英高等学校並びに育英西高等学校から、多くの生徒が近畿大学にお世話になっております。講演の内容は世界で初の「クロマグロの完全養殖」が成功するまでの軌跡をお聞きすることができました。特に、近畿大学初代総長世耕弘一先生の「不可能を可能にするのが研究だ」という言葉をお聞きし、とても強い印象を受けました。

皆様に参加をいただき、また協力いただきましたおかげで今回の文化講演会が成功裏に終わりましたことを心より御礼申し上げます。



### 教職員対象研修会



2015年8月19日(水)、学園創立100周年記念事業として、「教職員対象研修会」を東京大学大学院総合文化研究科 教育学部附属 教養教育高度化機構 特任助教の福山佑樹先生をお招きして、奈良ロイヤルホテルで開催しました。奈良育英小学校、奈良育英中学校・高等学校、育英西中学校・高等学校から多くの教員が参加して、今、教育界で注視されている、「アクティブラーニング」について、ワークショップをするなどして、学習しました。研修会場では、積極的な意見が飛び交い、とても活発で有意義な研修となりました。参加された教員からは、「積極的に授業に取り入れたい」、「すぐ実践したい」という意見が多くありました。今後「アクティブラーニング」を学園で実践していくためには、どのように教育環境の整備をするかが

課題であり、教員一丸となり課題解決に向けて尽力してまいります。



## 育英誓願とは ①

奈良育英学園では、教室や体育館に「育英誓願」を掲げ、生徒・児童・教職員がホームルームや職員朝礼、会議等で「育英誓願」を唱和しています。今回号と次回号で、奈良育英学園が大切にしている「育英誓願」の解説を行います。「育英誓願」は、創立者の理念と建学の精神を土台とした教育方針であり、世界四聖の心に学び、理想の人間教育の確立を誓ったものです。すなわち「誠の意(こころ)をもって世界と繋がり共に歩み、未来へ向かい時代を切り開く人材の育成であり、そのような学園を目指す為のものなのです。

掲載する文面は、奈良育英中学校・高等学校から発刊されている学園通信第206号で掲載したものの一部です。(元宗教科の河瀬先生の解説を参照した現宗教科の森山教諭の文章)

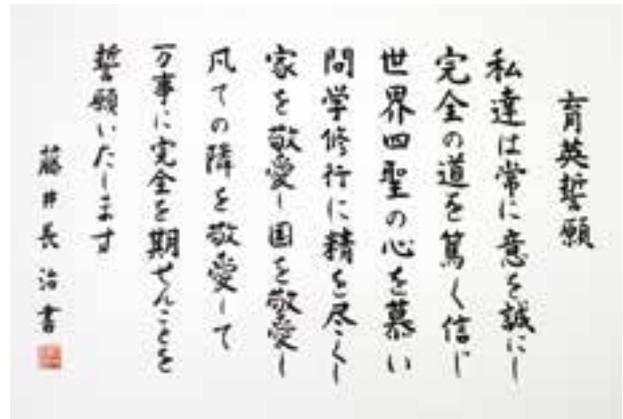
今回は、その育英誓願の八つの項目のうちの四つをご覧ください。

### 「常に意を誠にし」

「常に」は絶えず、一貫して代わらないということ。河瀬先生は「ちょうど私達が空気を呼吸して生きているのと同じように」と説明しています。「意を誠に」には主に五つの意味があります。第一は、心を正直にすること。第二は、心を純一にすること。第三は、継続して実行すること。第四は、偏りやムラをなくすこと。そして第五は、心を清く明らかにすること。この「誠」という言葉は、創立者である藤井高蔵先生が大切にされた言葉の一つです。藤井先生は、第一回の卒業式の式辞で、「人は誠を持って世に立つべきである。…偉い人になるよりも誠の人となれ」という言葉を生徒に語っています。「誠」という言葉には、目先の利益や成功に左右されない、正しく真っ直ぐな人間が描かれています。

### 「完全の道を篤く信じ」

「完全の道」とは、「古今もなく、東西もなく、天地宇宙に満ち満ちて」いる「神(天)の心(宇宙の大生命)」だということです。この「完全の道」とは、八つの性質と八つのはたらきに分けて考えられるそうです。八つの性質とは、「絶大・真誠・至健・至善・全智・全能・至美・聖愛」です。八つのはたらきとは、「創造・主宰・教育・救済・審判・保護・破壊・完成」です。これらを「篤く信じる」ことによって、「真の強さ、真の勇気が生まれる」と説明されています。普遍的な真実を信じ求めるとき、人は常識を越えた力を発揮するのかもしれませんが。



小学生全校集会の育英誓願唱和の様子

### 「世界四聖の心を慕い」

「世界四聖」とは、釈迦、孔子、ソクラテス、キリストの四者です。なぜこの四者が挙げられているのか。それは「人の心を学ぶ」ためだそうです。「人の心を学ぶならば、まずもって、世界歴史上その人格が一番偉大で、その徳行が一番美しく、その精神が一番高潔である人に心の眼を向けるべき」だと述べています。私たちはこの四者を通して、誠の意を持って真実を求め続けた人間に出会うのです。

### 「問学修行に精を尽くし」

学問・知識は「非常に貴重で大切なもの」である反面、それは「人生至上最大の目的のために使うべき道具」とであると解説しています。では、その目的とは何か。それは「神と人々に奉仕すること」です。そして「問学」とは、「真の学の心は疑問うところから始まる」、つまり問うことから学びが始まるという姿勢を大切にすることを意味し、「修行」とは、それら学んだ事柄が「知的な段階」に留まることなく、「自分の生命」となるように習い修めていくことを意味しています。何のために学ぶのか。またどのように学ぶのか。育英誓願の答えがここにあります。

## 奈良育英幼稚園

### なかよし(縦割り保育)について



幼稚園は3歳児・4歳児・5歳児と各1クラスずつの計3クラスです。少人数の中、子どもたちには同学年の関わりだけでなく、異年齢での関わりも大切にしてほしいと思っています。毎年、3歳児が入園して暫くすると、5歳児にパートナーを決め、朝の身支度や着替えなどのお手伝いをしてもらいます。初めはどのように関わっていいのかわからなかったり、言う事を聞いてもらえないもどかしさを感じたりしながらお世話をします。そんな5歳児の気持ちを察することができないのが3歳児です。自由きままに過ごしています。しかし根気強く関わり

を持つことで、「○○ちゃん」と3歳児もパートナーの名前を憶えていきます。「先生、名前よんでくれたで!」と喜ぶ5歳児。また、一緒にダンスをしようとして手を繋ぎに行っても「やだ」と言って断られていた子ども毎日声をかけ続けると、「先生、手を繋いでくれた!」という喜びの声に変わります。同学年で遊ぶ良さは、協力したり、相談したりしながら、遊びを進め広げていける所です。異年齢で遊ぶ良さは下の子にとっては身近に近い自分の未来像があり、遊びを真似ることで、「やってみたい」「私にだってできる!」という憧れや嫉妬の思いを持ち、成長することができます。上の子にとっては下の子に配慮しながら遊ぶことを覚えます。

昔のように家の外に出ればすぐに友達が出て、異年齢で遊べる環境ではありません。だからこそ幼稚園の中でできる異年齢の関わりを多く持ちたいと思います。また、5歳児にとっては上の学年がないこ

とから、「年長児を育てる難しさ」がどの園にもあります。しかし、本園は総合学園です。総合学園の良さを生かし、幼小連携をとりながら、5歳児にとっての「1年生」という身近なモデル像との交流を持つことで、年長児にももっと育ちの芽を伸ばしていけたらと願っています。総合学園として、未来を担う子どもたちを幼稚園の教師だけで育てるのではなく、小・中・高生、また各校種の先生方など人との出会いを大切に、繋がりをもって子どもたちが生活をしていける環境であると思います。



### 絵画製作について



月に1回の「絵画製作」では制限されることのない、ダイナミックで個性豊かな造形活動を行っています。「絵を描く」「粘土で作る」「色々な材料で作る」の中から好きな活動を自分で選び、当日の活動に向けて準備から始めます。各年齢に応じて、担任教師が丁寧に子どもたちの「やりたいこと」の話を聞きとり、どんな材料でどんなふうに活動に取り組むのかを一緒に考えていきます。この前日準備で子どもたちは自分の思いを教師に伝え、教師はその思いを受け止め、イメージを共有し、それぞれが自分の活動に必要なものを考え準備

をするので、当日の「絵画製作」がより充実した活動となります。当日の子どもたちは、準備を行ってきたことで自分の活動に意欲的に取り組みます。7月の絵画製作の年中・年長児においては、活動中私語はなく、ひたすら自分の活動に集中して取り組み、教師の援助が必要な時には静かに挙手をして待つ姿が見られました。「どんな良い作品ができたのか」が大切なのではなく、作品が出来上がるまでのプロセスこそが一番大切なのです。

そして、それぞれの活動が終わると、教師を呼び、「作品のお話」を聞かせてくれます。それを教師は子どもの言葉のまま書き留めます。「あんな、長い電車になつてな、そんでな・・・」子どもの話し言葉をそのまま書き留めるので題名はいつも長くなります。しかし、子どもたちは丁寧に話を聞いてもらうことで想像の世界を広げ、ユーモアある楽しい話を聞かせてくれます。

年中・年長では床拭きや絵具のポット洗

いなど、活動の後片付けも自分たちで行います。

この絵画製作を通し、子どもたちは「生きる力」を身につけています。実は「自由」ほど難しいことはありません。何をするか決まっていることの方が簡単な時もあります。しかし、この自由の中で、頭を使って物事を考え、必要なものを自分で選び準備し、工夫をして取り組み、試行錯誤しながら思いを表現しています。そして誰にも否定されることのないこの自由な活動を続けることで、自己充実をさせ、創造力豊かな人間の基礎力を育てていきたいと思っています。



## 奈良育英小学校

## ESD教育 元年へ 世界へはばたけ子どもたち

学園創立100周年を迎えるにあたって、よりグローバルな人間育成を目指して、これまで本校が大切にしてきた「あさのかい」や「体験学習」をより実践につなげていくESD教育(持続可能な開発のための教育)を導入しました。

ESD教育のテーマを『奈良から世界へ』～いのちと私たち 育む・守る・つなぐ～として、世界遺産に隣接しているという立地条件を存分に活かしながら、子どもたちの地域愛を育み学年、教科を越えた問題解決学習を目指します。

ESD教育を実践するに際し、ユネスコスクールに加盟申請しています。今後は、ユネスコスクール加盟校との交流をESD教育を通して拡げていきます。



## 育む

低学年では、「あさの会」や「しごと」の時間に様々な命に出会います。友達の持ってきた生き物や、草花、自分たちで育てるあさがおや野菜。これらの物を育てたり、継続観察したりする中で、変化する様子に気づいていきます。そしてそれらには大切にしなければいけない命があることを学びます。

## ○植物、虫の世話

今まで漠然と草だと思っていた植物にも一つひとつ名前があることを知ります。今まで虫が苦手だと思っていた子どもも世話をする中で愛情がわき可愛く大切に思えてきます。

## ○野菜作り

自分たちで数々の野菜を育てる中で成長過程を観察し、植物の成長の様子を知り、最後には収穫し調理をして食べるという、喜びのある体験をしました。

## ○佐保川探検!

何度も出向き、自然の移り変わりを体感したり、生物等を見つける。そうすることで自然と子どもたちの中に物を愛おしみ、大事にしたいという気持ちがあふれてきます。

このように低学年は、全てのものに大切な命があることを知ることを目標として活動しています。



## 守る

中学年では「しごと」の時間で、身近な暮らしを守ることを柱として学習を進めています。「命と暮らしを支える水」の学習では、子どもたちは浄水場を見学し、川から届いた水が飲み水になるまでの行程の多さに驚きました。海も大きな川もない奈良で水を確保する事に、奈良の人々は大昔から苦勞してきた事も学習しました。同じころ100周年カウントダウンイベントで、ヒューマンノートに出会い、その活動報告の中でケニアの子どもたちが登校前に2時間もかけて水くみをしている姿に心を打たれ、今の自分たちの暮らしの便利さを改めて感謝すると共に何か出来ることはないかと考えました。

## ○「水を大切にしよう」

自分たちでポスターを作って学校内の水道に貼り、自分が担当する蛇口の水が出しっぱなしではないかを点検し、みんなに呼びかけ活動を行っています。

## ○理科の授業で水質検査

川の水を自分たちでとりにいき、検査して生き物が住みやすい川になるように調べ始めました。

このように将来の地球のために自然を「守る」ことが、根づく活動をしています。



## つなぐ

高学年では国語の時間に「千年の釘にいどむ」という単元があります。薬師寺の西塔の再建に関わった鍛冶職人の釘作りを追った文章です。千年以上前の職人が作った釘に負けないように、鍛冶職人はよりよい釘を作り続けています。

## ○薬師寺見学

薬師寺が近くにあるという利点を生かして見学に行き、ご住職から奈良にある寺についてのお話を聞かせていただきました。実際に西塔や薬師如来を目にすることもでき、その見学から分かったことや疑問について話し合い、一人ひとりがテーマをもって自分たちで調べる学習に取り組んでいます。

## ○世界に誇れる奈良の社寺

「奈良から世界へ」のテーマに沿って、世界に誇れる奈良の社寺について調べ、発信します。その活動を通して千年以上前に生きていた人たちの願いや思いを感じ、そして、どうやって未来へと伝えていくのかを考え、古代の人たちの思いを未来へと「つなぐ」活動をしています。

今後も世界に誇れる奈良の素晴らしさを学習し、発信していきます。



## 奈良育英中学校・高等学校

### 100周年に向けての取り組み

#### ◆学園創立100周年300日前イベント

6月22日(月)の昼休みに、体育館にて生徒会主催の「学園創立100周年300日前イベント」を実施致しました。イベントは、生徒会が100周年のPRを行い、その後に吹奏楽部がミニコンサートを開催するというもので、多くの生徒が参加してくれました。次回は9月30日(水)に「200日前イベント」を実施致します。今後も100周年をPRし、来年度に向けて機運を高めるイベントを実施していきます。



#### ◆授業見学会及び学校説明会

6月27日(土)3限目に中学校・高等学校受験予定者及びその保護者対象に授業見学会を実施し、その後に学校説明会を開催致しました。授業見学会では、中学生の授業を小学生36名が、高校1年生の国際理解Gコースの授業を中学生7名が実際に見学・体験し、本校の授業を知って頂くよい機会となりました。今回の授業見学会は、10月3日(土)にクラブ体験とともに開催致します。尚、7月11日(土)にも学校説明会を開催し、6月27日と合わせて126名の児童・生徒にご参加頂きました。



#### 童咲祭の土曜開催!

今年度は、笑顔の溢れる童咲祭になるようにという思いを込めた「咲かせよう😊100輪の smile (スマイル)の花」というスローガンの下、9月25日(金)・26日(土)の2日間で開催させていただきます。また、2日目にはオープンスクール(事前予約要)も合わせて実施させていただきます。多くの方のご来校を心よりお待ちしております。

#### クラブ活動

～インターハイ・全国大会出場クラブ～  
男子サッカー部・男子バスケットボール部・柔道部・テニス部・ソフトテニス部・なぎなた部・剣道部・ゴルフ部・水泳部・情報技術部・書道部・吹奏楽部

☆ 情報技術部国際大会出場決定! ☆

#### 生徒募集活動について

9月26日(土) 第1回オープンスクール  
10月 3日(土) 授業見学会・クラブ体験日  
10月24日(土) 第2回オープンスクール  
11月15日(日) 第1回入試説明会・中学プレテスト  
12月 6日(日) 第2回入試説明会・中学プレテスト

Information

## ヤングアメリカンズ

### 中学校

100周年事業の一環として、6月11日(木)に育英西中学校・高等学校体育館にて本校の中学生全員と育英西中学校2・3年生の約270名が参加してヤングアメリカンズを実施致しました。開始直後は戸惑い、恥らう生徒もいましたが、時間がたつにつれて真剣かつ積極的に踊ったり、歌ったりするようになっていきました。最後は、参加者全員で素晴らしい堂々としたステージを作り上げました。生徒たちは、このプログラムやショーを通して、自らを自由に表現することを学び、仲間と何かを作り上げる素晴らしさを体験することができました。

今年で3年目を迎える縦割り活動が始まりました。このヤングアメリカンズでの経験を経て、夏期休業中から赤組・黄組・緑組のそれぞれが2学期の童咲祭・体育祭に向けて準備を行っております。今後の縦割り活動にご期待下さい。



## 国際理解Gコーススタート!

### 高等学校

本校では2015年より、多文化共生社会を自ら切り開くリーダーの育成を目指して国際理解Gコースを新設しました。本コースでは、1年次にニュージーランドへ留学し、次年度以降はその経験と語学力を活かし、国際協働プレゼンテーション大会への参加をはじめ様々なプロジェクトを実行します。授業は主体性を重視し、学び・考え・行動・検証・進化のサイクルで展開して、成長し続ける力を養います。

#### ～ 授業について(特色のある授業の一例)～

- ① Global studies … 地球規模の諸問題に対して英語を駆使し、情報収集や分析を行い、探究する力を養います。
- ② 多文化理解 … 英語圏だけでなく、アジア諸国にも目を向けた多角的な視点を身につけます。
- ③ 多彩な英語科目 … 場面や状況を意識した生きた英語の習得を目指します。
- ④ 言語技術 … 見方や視点を整理しながら、論理的に思考し、表現する力を養います。



ニュージーランドから  
高校の先生が学校訪問



異文化を疑似体験  
思わず涙する生徒も…。

## 育英西中学校・高等学校

## 中学主張大会



育英西の小講堂で実施します

国語科の行事の一つとして平成2(1990)年から主張大会は始まり、今年で25回を迎えました。本校の国語科では開校当初から作文指導に重点を置いた教育を行っていました。そのような中で「書く」ことと「話す・聞く」の活動を効果的に結び付けられないだろうかということから「主張大会」という行事に取り組むことになりました。自分の考えを言語化する習慣を身に付け、「書く」ことへの抵抗感をなくしていくこと、話すことに慣れ、聞く態度を身に付けることを目的にした行事です。

大会までの流れは次のようになります。5月の連休中の課題として作文を課します。「家庭、学校、地域、社会及び家族や友人とのかかわりの中で、日ごろ考えていることや感じていること」について原稿用紙4枚程度にまとめて提出をします。その後、クラス内選考会に向けて、国語科の担当者がクラスごとに5、6編を選びます。そして、国語の授業において、クラス内選考会が実施されます。一人ひとりが皆の前で発表し、聞く側は審査項目についてそれぞれを点数評価し、代表者としてふさわしい人を決めます。そして投票が行われ、クラス代表者が2名決定されます。

大会当日の司会進行は中学3年生の文化委員が担当します。学年順に発表をし、すべての発表が終了すると、生徒全員による投票が行われ、順位が決まります。作文のテーマや内容、表現については、やはり学年を追うごとに深みや完成度が

増します。また、発表者の態度も堂々として立派で、聴く側もしっかりと耳を傾け、うなずきながら聴く生徒もいて、緊張感のある時間になっています。

さらに、発表者をはじめとして希望者を募り、奈良県「少年の主張」大会への応募も毎年実施しています。佳作には毎年選ばれ、年度によっては入賞して県大会において発表の機会を得ている生徒もいます。今後も校内外の発表やコンクールへの参加の機会を多く持ちたいと考えています。



各クラス2名ずつ登壇します

## 21世紀型の学び『シナジー・タイム』と『エウレカ・ルーム』



さまざまな課題に取り組む中学1年生

育英西校では、『すみれ21世紀グローバル・プロジェクト』という名の21世紀型グローバル教育を実践しています。そして今年、2015年度から中学1年生のカリキュラムの中に、問題発見力と論理的思考力の育成に繋がる教育活動として本校独自の学校設定科目『シナジー・タイム』を開講しました。2週間に一度、土曜日の4時限のうち2時限連続の時間を使います。生徒のみなさんは議論などの言語活動を通して、与えられた課題を一人で解いていくのではなく、互いに課題を発見し、互いに考え、互いに伝え合います。こ

の取り組みでは個人で得られる以上の成果を上げるよう、生徒の皆さんの「シナジー効果」を期待しています。

またシナジー・タイムを実施するために、教員の発案で、従来の授業の形にとられず、机のレイアウト変更やマルチスクリーンによるコンテンツ投影など、学習空間の変化を容易にし、実習や演習など様々な場面における形へとアレンジ可能な教室として、さらに2016年度の中学新入生からタブレット端末一人一台の導入にも対応できるような教室として合併教室を改修し、その教室を新たに『エ



21世紀型の学びにふさわしい学習環境を整備

ウレカ・ルーム』と名付けました。

生徒がともに学び合うエウレカ・ルームは育英西の『すみれ21世紀グローバル・プロジェクト』の学びを象徴する教室となるでしょう。


since 2015

古代ギリシャのアルキメデス (Archimedes) は浮力の原理を用いて黄金の王冠が純金よりも密度が低いかなかで純度を判断したと言われています。

この原理のヒントを入浴中に思いつき「Eureka」(「分かった」の意) と叫びながら、興奮のあまり服を着るのも忘れて通りに飛び出したとも言われています。

みなさんもこの教室で、「発見」や「理解」をして Eureka! と言いましょ！

名前の由来を記す揭示物

# 学園創立100周年記念事業募金のお願い

学園創立100周年を記念して、本学園の教育環境の整備と、私学教育の内容充実を図るため、「奈良育英学園創立100周年記念事業募金」を募集しております。何卒、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。



**募金目標額** 約3億円

**応募期間** 平成25年2月～平成29年3月まで

**募金の対象** 本記念事業のご賛同頂ける法人および個人

**募金申込** ご寄付をご希望の方は「振込依頼書」を送付させていただきます。  
下記の創立100周年記念事業実行委員会までお問い合わせ下さい。

**募金の方法** 個人・・・一口1万円以上  
※ただし、口数と金額に関わらず有難くお受けいたします。  
法人・・・お申込み金額は特に定めておりません。

**送金方法** 所定の「振込依頼書」で郵便局(ゆうちょ銀行)、南都銀行、三菱東京UFJ銀行の本支店からご送金の場合、手数料は不要です。  
※ただし、保護者の方は銀行のみのお取扱いとなります。

お問い合わせ、  
その他ご連絡は

## 学園事務局 創立100周年記念事業実行委員会

〒630-8558 奈良市法蓮町1000番地  
TEL: 0742-27-1626 FAX: 0742-23-3239 E-mail: 100nen@ikuei.ed.jp

【事務取扱時間】

8:30～16:30

※ただし、土曜日、日曜日、祝祭日  
及び年末年始等を除きます。

## 学園ホームページリニューアルのお知らせ



前回号に引き続き学園ホームページリニューアルのお知らせをいたします。

現在、学園総合、奈良育英幼稚園、奈良育英小学校のページをリニューアルし公開しております。奈良育

英中学校・高等学校、育英西中学校・高等学校のホームページも作製中でございます。(来年3月までにすべてリニューアル予定) 幼稚園、小学校ではオープンスクール、体験教室等をホームページから申込受付をするなど、ご覧いただく機会が多くなっております。さらに、毎日の行事はもちろんのこと、来年に迎える学園創立100周年に向けて各校園様々な行事を予定しておりますので、その様子も随時発信してまいります。下記のURLもしくは「奈良育英学園」で検索しぜひご覧ください。

■奈良育英学園 学園総合ページ URL: <https://www.ikuei.ed.jp>

### Facebook開設のお知らせ

facebook

ホームページのリニューアルにあわせて、「Facebook」も、奈良育英学園のページを開設しております。各校園のニュースやイベントをはじめ、ホームページでは伝えきれない情報も掲載しております。少しずつではありますが、様々な方にご覧いただき、大変うれしく感じております。これからも様々な学園のイベントをお届けいたしますのでぜひご覧ください。

■Facebookにて「学校法人奈良育英学園」で検索をしてください。

## 編集後記

学園創立100周年まで250日を切りました。カウントダウンイベントや記念行事など、各校園の特色を生かした行事で生徒、教職員とともに盛り上がっています。そちらの様子をホームページやFacebook等でも随時お知らせしておりますので是非そちらのほうもご覧ください。今後も皆様楽しんでいただけるような記事や企画を考えておりますので、情報提供や記事に対してご要望等がございましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。



【編集・発行】

奈良育英学園広報誌編集部

〒630-8558 奈良市法蓮町1000番地

Tel.0742-27-1626 Fax.0742-23-3239

《URL》<https://www.ikuei.ed.jp>

《E-mail》[gakuen-office@ikuei.ed.jp](mailto:gakuen-office@ikuei.ed.jp)



学校法人 奈良育英学園  
NARA IKUEI GAKUEN